

## ヘアースタイルカレッジ木浪学園『学校自己評価について』

\*評価平均・・・「平成27年度学校自己評価」の採点結果に対する評価(大変良い=5、良い=4、普通=3、やや不満=2、不満=1の5段階評価)の平均値

評価項目	評価平均		
1.教育理念・目標	4.2	ご意見	青森県内外で卒業生が活躍している姿を見る機会もあり、創立から60年、「勤勉・誠実・礼節」という教育方針が活かされていると感じる。ただ、他校との差別化が明確でないと感じる部分もあるため、今後は県外校と遜色ない教育環境や就職状況だということを今以上にアピールできればよいのではないかと思う。
		取組実績	高校生に対しては、進学ガイダンスやキャンパスイベントにおいて、本校の教育理念や取り組みなどの周知を図っている。また、トータルビューティー科による化粧品第3弾[リアンモイスチャーローション]の完成に際し、青森県知事を表敬訪問したことが新聞などで取り上げられ、「木浪学園」と「リアン」の名前を再び広く一般に知ってもらう機会も生じた。[リアンモイスチャーローション]のサンプルは、リアン愛用者やサンプル請求者のみならず、キャンパスイベントやサロン実習の参加者、卒業生、関係企業など、県内外を問わず約1,600件を発送した。サンプル発送の際には、本校の特色をまとめた資料及びアンケートハガキを同封し、情報提供と情報収集に努めている。
		取組予定	トータルビューティー科による化粧品開発や赤十字活動などの本校独自の取り組みや、県内外及び海外での卒業生の活躍などを通して、本校の教育理念について引き続き積極的に周知に取り組んでいきたいと考える。
2.学校運営	4.2	ご意見	昨年度の評価結果と比べ、改善されていることが確認できる。学生及び教職員によるアンケート結果を踏まえ、今後の改善策に期待したい。
		取組実績	個人面談を実施し、生徒や教職員から要望(改善点など)や意見を聞く機会を設けている。
		取組予定	要望や意見が言いやすい体制の構築に引き続き取り組んでいきたいと考える。

評価項目	評価平均		
3.教育活動	4.2	ご意見	<p>国家試験や各種資格取得、インターンシップによる実践的な教育など、限られた時間の中で充実した指導ができていると評価できる。ただ、学生のアンケートから、球技大会や遠足・学園祭などの行事を望んでいる学生も多く存在していることが見受けられるため、実施を検討してはどうか。</p>
		取組実績	<p>理美容科は出場者(2学年16名)の応援を兼ねて「全国理容美容学生技術大会東北地区予選(於:アピオ岩手産業文化センター)」を見学した。トータルビューティー科は前述の大会には参加できないため、1学年全員でラウンドワンスタジアム盛岡店(スポッチャ)に行き、スポーツやゲームなどで交流を深めた。</p>
		取組予定	<p>遠足の代替えとして、技術向上や他校生との交流を目的とした大会の見学を実施したが、学生間の交流を深められる行事(遠足など)の開催を望む声も根強いことから、来年度以降の行事については職員会議で再度検討中である。</p>
4.学習成果	4.2	ご意見	<p>国家試験合格率100%が達成できたことは大いに評価できるし、今後も継続してもらいたい。また、退学者の低減に対する学校の取り組みも評価する。</p>
		取組実績	<p>[理容科・美容科]国家試験合格率100%の継続は、学生及び教職員全員の達成目標である。2学年は、実技及び筆記ともに期末試験などにおいて学生本人にも現時点での実力を理解させ、学生一人一人の課題を明確にしている。国家試験のシミュレーションは1学年にも見学をさせ、早い段階から国家試験に対する意識付けを行っている。1学年は、「福祉理美容士養成コース」及び「サロン経営実践コース」並びに「ジェルネイル」の授業を実施した。入学以前より興味を持っていた学生も多く、皆熱心に取り組んでいた。</p> <p>[トータルビューティー科]サロン実習や化粧品開発において、一般のお客様と接する機会が数多くあり、より実践的な学習ができている。ネイル課目においては、秋期ネイリスト技能検定試験において2級検定2名合格、1級検定1名合格を達成。2級合格者の内1名は1学年であり、入学後半年での2級取得は本校初となる。ジェルネイル技能検定試験においては、1学年全員が初級試験に合格し、その後、1学年2名が中級試験に、2学年2名が上級試験に臨んだ(12月末可否発表)。また、1学年全員がビューティ・コーディネーター検定3級試験に合格した。</p>
		取組予定	<p>理美容科は、来年2月に国家試験が迫り、学生自身も意識が高まってきているので、実技・筆記ともに個別指導などを取り入れたより一層の指導に取り組んでいく。トータルビューティー科は、ブライダル・メイクアップ・エステティックなどの各種検定試験を予定しているため、卒業要件となる資格取得はもちろんのこと、在学中に更なる上級資格が取得できるようサポートしていく。</p>

評価項目	評価平均		
5.学生支援	4.2	「い」意見	入学生及び在学生の要望に対応して様々な取り組みをされているようなので、今後も継続して欲しい。優秀な人材が青森県内で活躍できるよう、進路指導に取り組んで欲しい。
		取組実績	インターンシップについては、実施後、今後の取り組みについて各店舗及び学生へアンケートを実施し、改善点を取りまとめた。学生の出欠状況及び履修状況については「履修管理システム」によりデータ管理をしており、学生から希望があった場合にはクラス担任が閲覧を許可している。遅刻や欠席・早退などの多い学生や学習成果が上がらない学生については、ホームルームにおいて個別に指導し、必要があれば保護者を交えて話し合いの場を持つなど、早期に対応している。
		取組予定	美容科は就職内定率100%を達成したが、トータルビューティー科は未定者がいるため(11月末現在)、引き続き進路指導に努めたい。
6.教育環境	4.2	「こ」意見	幅広く学べる十分に恵まれた設備・環境だと思うが、防災体制・防災教育の点において多少心配される点を感じる。
		取組実績	危機管理マニュアルを作成し、緊急時の連絡体制を整えている。避難訓練の実施や赤十字研修会参加により、学生の防災意識を高めている。また、ヘアショーなどの校内開催に際し、舞台装置や衣装などを整備した。学生玄関には消毒用アルコールと自動うがい器を設置し、風邪や感染症の予防に努めている。
		取組予定	施設・設備に経過年数による修繕箇所が現れ始めているため、引き続き適切な管理及び修繕に努め、教育環境を維持したい。冷暖房設備の適切な運転を心がけ、快適な学習環境の維持に継続して取り組みたい。また、衛生面を考慮して、トイレや流しに配置している手洗い用石けんを、固形石けんから液体石けんに順次切り替える予定である。

評価項目	評価平均		
7.学生募集	3.6	ご意見	他校に先駆けて斬新なコースを設定するなど、積極的な取り組みは評価するが、そのことをもっと外部に向けてアピールする必要があると考える。学生募集活動については他校も特に力をいれていることだと思うので、テレビなどで取り上げてもらえるような他校にはない特色をどんどん発信して欲しい。
		取組実績	「国家試験合格率100%」、「福祉理美容士養成コース」、「サロン経営実践コース」といった特色に加え、入学生に対しては、創立60周年記念事業として「ジェルネイルコース(100,000円)無料[理美容科]」及び「プロフェッショナル選択コース(298,000円)無料[トータルビューティー科]」など、学費の面でも負担軽減に努めている。昨年反応の多かったテレビCMは、本年度50本を放映し、青森市内のみならず、青森県内の高校生にアピールした。高校訪問の際に、高校生や高校教員から「CMを見た」という声が多数聞かれたため、一定の効果はあったと感じている。
		取組予定	入学生に対しては、上記無料コース設置のほか、入学時納入金(教材費など)の納入期限の延長など、引き続き学費の負担軽減に努めていく。学生募集活動については、特色と併せて学費軽減の部分も広く周知できるよう、最善の方法を検討したい。また、業者を介した進学ガイダンス(進路説明会)参加の見直しなど、高校生に対する広報活動については今後も随時動向を測って対応していく。学生の利用するSNSツールにも変動が見られるため、高校生や在学生へのアンケートなどを利用して動向を測りたいと考えている。
8.財務	4.0	ご意見	引き続き適切に運営していただきたい。
		取組実績	引き続き適切な運営に努めている。
		取組予定	引き続き適切な運営に努めたいと考える。

評価項目	評価平均		
9.法令などの遵守	4.2	ご意見	引き続き適切に運営していただきたい。
		取組実績	引き続き適切な運営に努めている。
		取組予定	引き続き適切な運営に努めたいと考える。
10.社会貢献・地域貢献	4.6	ご意見	青森県産のプロテオグリカンを配合した化粧品の開発は大変素晴らしいことであり、大いに評価する。また、赤十字活動においては、地域における世代を超えた有意義な活動がなされていると思う。社会に出てからもボランティア活動などで社会貢献されることを期待している。
		取組実績	赤十字活動(献血ボランティア、地域分団との交流会)、介護保健施設訪問・ピンクリボン活動(技術提供)、サロン実習(トータルビューティー科)、小・中・高校生の学校見学や技術体験などについて、継続して積極的に実施している。また、日本エステティック協会や日本ネイリスト協会など、認定校となっている団体が主催するセミナーの会場として施設を提供し、県内外からの参加者の受け入れに協力している。
		取組予定	トータルビューティー科によるリアンプロジェクトは、サンプル請求者からのアンケートハガキなどによると概ね好評を得ており、継続希望の声が多数聞かれる。化粧品のシリーズ化もさることながら、開発した化粧品によって、地域社会にどのように貢献できるかについて、学生を交えて検討したいと考えている。化粧品だけでなく、技術提供やボランティア活動など、学校として貢献できることを引き続き考えたい。